

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社うかい  
 コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大工原 正伸  
 (氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,030	—	704	—	618	—	297	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	60.42	60.19
23年3月期第3四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第3四半期	11,925	—	3,867	—	32.1	—
23年3月期	12,437	—	3,597	—	28.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,833百万円 23年3月期 3,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,461	△5.7	456	185.5	305	577.8	137	—	27.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,229,940 株	23年3月期	5,229,940 株
24年3月期3Q	306,356 株	23年3月期	306,329 株
24年3月期3Q	4,923,587 株	23年3月期3Q	4,923,627 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直しがみられるものの、円高の長期化や株価の低迷、欧州の政府債務危機を背景とした世界経済の減速懸念などの要因により、先行きに対する不透明感が強まっております。

外食産業におきましても、生活防衛意識による支出の減少が続いているなかで、食品への放射能汚染問題・食中毒事件の影響による食の安全性に対する意識の高まりも加わり、取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、改めて当社の基本理念である「利は人の喜びの陰にあり」に原点回帰し、その理念や精神をぶらすことなく、「うかいの心と技」の更なる徹底追求をし、社会的責任における企業使命として「食を通じて心を豊かにする」をミッションに掲げ、お客様に求められる新たな価値創造を行っていただける店づくりを推進してまいりました。

業績面につきましては、4月は大震災の影響を受け個人消費の落ち込みにより大幅に売上が減少したものの、5月にはほぼ前年並みに回復し、6月以降は前年を上回る結果となりました。9月に相次ぐ台風の影響もあり減少しましたが、10月から12月にかけて紅葉祭りや七五三、クリスマスのイベントやフェアの好評により順調に推移し、当第3四半期累計期間では売上高は9,030百万円となりました。利益面に関しては原価上昇の抑制や人件費をはじめとする経費の削減に努めた結果、営業利益704百万円、経常利益618百万円、四半期純利益は297百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 〔飲食事業〕

和食事業では、うかい鳥山・とうふ屋うかい大和田店・東京芝とうふ屋うかいの3店舗で前年の売上を上回りました。また、うかい竹亭・とうふ屋うかい鷺沼店は来客数の減少を主因に前年を下回り、和食事業全体では売上高4,205百万円とほぼ前年並みになりました。

洋食事業では、八王子うかい亭・横浜うかい亭・あざみ野うかい亭・表参道うかい亭・GRILLうかいの5店舗で前年を上回る売上高となりました。また、都心店舗の中でも高価格帯である銀座うかい亭では来客数は前年より増加しましたが、客単価が減少し、売上高としては前年を下回りました。なお、洋食事業全体としては、売上高3,796百万円と前年を上回りました。

その結果、飲食事業としては売上高8,001百万円となりました。

#### 〔文化事業〕

箱根ガラスの森では、開館15周年特別企画「華麗なるヴェネチアン・グラス展」を4月23日から11月13日まで、その後11月15日から12月25日にクリスマス企画展を開催し、また多くのイベントや企画を通して積極的に集客を図ってまいりました。東日本大震災による電力不足に伴う交通機関の運休や心理面での旅行の自粛、また海外観光客の激減等により厳しい状況が続いておりましたが、ようやく11月以降は来館者が前年を上回り、回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら上期の大幅な減収の影響により、売上高は前年を下回り1,028百万円となりました。

また、東日本大震災への対応として、「美を通じて日本の復興を応援したい」という思いから春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・クリスマス期間に「1コインチャリティ美術館」と題して、入館料(一律1人500円)すべてを東日本大震災への義援金とする活動を行ってまいりました。引き続き本業を活かして活動をしてまいります。

(注) 前第3四半期は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期累計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ511百万円減少し、11,925百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少350百万円、売掛金の増加212百万円、有形固定資産の減少200百万円、繰延税金資産の減少293百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期累計期間末における負債は、前事業年度末に比べ781百万円減少し、8,057百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少997百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期累計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ270百万円増加し、3,867百万円となりました。主な要因は四半期純利益297百万円、剰余金の配当による減少24百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、景気の一部回復基調や復興需要への期待感はあるものの、欧米を中心とした世界経済の下振れ懸念や円高・株安の進行などの不安要因もあり、先行きの見通しは不透明な状況にあります。これらを総合的に勘案し、平成23年5月20日に公表しました通期業績予想値に変更はありません。業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,579	464,935
売掛金	174,445	387,397
商品及び製品	139,952	148,296
原材料及び貯蔵品	235,544	289,157
繰延税金資産	57,979	32,811
その他	158,565	160,100
貸倒引当金	△2,363	△140
流動資産合計	1,579,702	1,482,558
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,890,948	8,982,235
減価償却累計額	△4,171,852	△4,410,191
建物(純額)	4,719,096	4,572,044
土地	2,406,750	2,406,750
建設仮勘定	82,043	310
美術骨董品	1,079,605	1,078,706
その他	3,022,296	3,190,305
減価償却累計額	△2,168,370	△2,307,014
その他(純額)	853,925	883,290
有形固定資産合計	9,141,421	8,941,101
無形固定資産	104,368	102,654
投資その他の資産		
投資有価証券	25,297	21,287
繰延税金資産	512,661	244,283
敷金及び保証金	995,864	987,973
その他	78,208	145,795
投資その他の資産合計	1,612,031	1,399,338
固定資産合計	10,857,821	10,443,095
資産合計	12,437,523	11,925,653

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	163,517	353,010
1年内償還予定の社債	477,000	432,000
短期借入金	550,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,928,377	1,775,848
未払法人税等	26,777	19,462
賞与引当金	45,482	21,368
その他	651,311	698,315
流動負債合計	3,842,465	4,450,004
固定負債		
社債	800,000	474,000
長期借入金	3,415,458	2,294,928
退職給付引当金	617,196	647,771
資産除去債務	111,725	113,602
その他	52,788	77,364
固定負債合計	4,997,168	3,607,666
負債合計	8,839,633	8,057,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	994,446	1,267,310
自己株式	△563,100	△563,140
株主資本合計	3,558,765	3,831,590
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,433	1,701
評価・換算差額等合計	4,433	1,701
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	3,597,890	3,867,982
負債純資産合計	12,437,523	11,925,653

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,030,579
売上原価	4,097,937
売上総利益	4,932,642
販売費及び一般管理費	
販売促進費	210,270
役員報酬	132,406
給料及び手当	1,469,913
賞与引当金繰入額	12,390
退職給付費用	36,446
福利厚生費	234,118
水道光熱費	143,129
消耗品費	141,022
修繕費	117,448
衛生費	151,232
租税公課	97,228
賃借料	523,500
減価償却費	293,196
その他	665,567
販売費及び一般管理費合計	4,227,870
営業利益	704,771
営業外収益	
受取利息	3,792
受取配当金	564
保険解約返戻金	3,195
保険配当金	3,668
その他	11,895
営業外収益合計	23,116
営業外費用	
支払利息	88,360
社債利息	7,213
その他	14,245
営業外費用合計	109,819
経常利益	618,068
特別損失	
固定資産除却損	10,403
台風による災害損失	4,746
特別損失合計	15,149
税引前四半期純利益	602,918
法人税、住民税及び事業税	10,612
法人税等調整額	294,824
法人税等合計	305,436
四半期純利益	297,481

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,001,930	1,028,649	9,030,579	—	9,030,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,001,930	1,028,649	9,030,579	—	9,030,579
セグメント利益	1,178,763	160,733	1,339,496	△634,725	704,771

(注) 1. セグメント利益の調整額△634,725千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。